

2018年度 湘南藤沢学会「研究助成金」 成果報告書

19th International Society for Music Information Retrieval (19th ISMIR)における
「Development and Reliability of the Harvard Beat Assessment Test iOS App」
の研究発表

慶應義塾大学 政策・メディア研究科 修士課程1年
今野嶺

1. 活動日程・会場

日程: 2018年9月23～27日

会場: フランス パリ パリ国際大学都市

2. 活動の目的

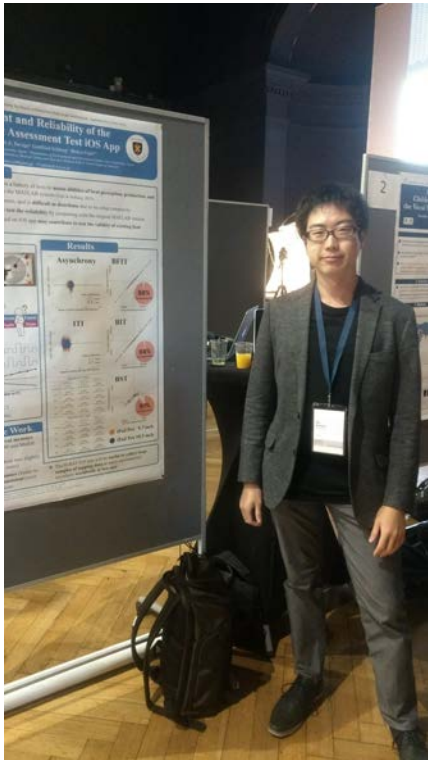
本活動の目的はフランスのパリにて開催された 19th International Society for Music Information Retrieval Conference (以下、ISMIR)にて「Development and Reliability of the Harvard Beat Assessment Test iOS App」という題目でポスター発表を行なうことである。本学会は音楽を対象とする世界中の研究者が集う大規模な国際学会の1つである。曲から特定のパートの抽出や音楽データベースの活用、曲のビートの検出など、音楽をキーワードとした多様な研究が一堂に集まる学会である。本学会で発表することでビート自動生成分野の研究者とディスカッションをし、活用方法も含めた本研究の発展には重要であると考えた。

3. 活動の成果

「Development and Reliability of the Harvard Beat Assessment Test iOS App」という題名でポスター発表を行なった。音楽リズムの知覚・生成を別々に評価するハーバードビート評価テストは高価な上、機材が多く、一般に普及するには問題があった。本研究では、この評価テストのiOSアプリを開発して信頼性を検証することで、世界中でより簡便に行なえるのが目的である。その結果、各音楽タスクにおいて級内相関係数が0.8を超え、高い信頼性が確認された。

本学会には、ビートトラッキングモデルを研究される研究者が多く、説明を聞いて

てくださった。今後の研究に活かせるディスカッションもでき、非常に有意義な学会だった。



学会での発表の様子

4. 今後の展望

今後は、アプリを世界配信し、様々なデータから文化差に着目した世界的な比較を行いたい。また、得られたデータから今回の学会にて得られた知見を用いてユニークなビートトラッキングモデルの開発を行いたいと考えている。

5. 謝辞

本学会参加に際し、資金の援助をしてくださった湘南藤沢学会に厚く御礼申し上げます。